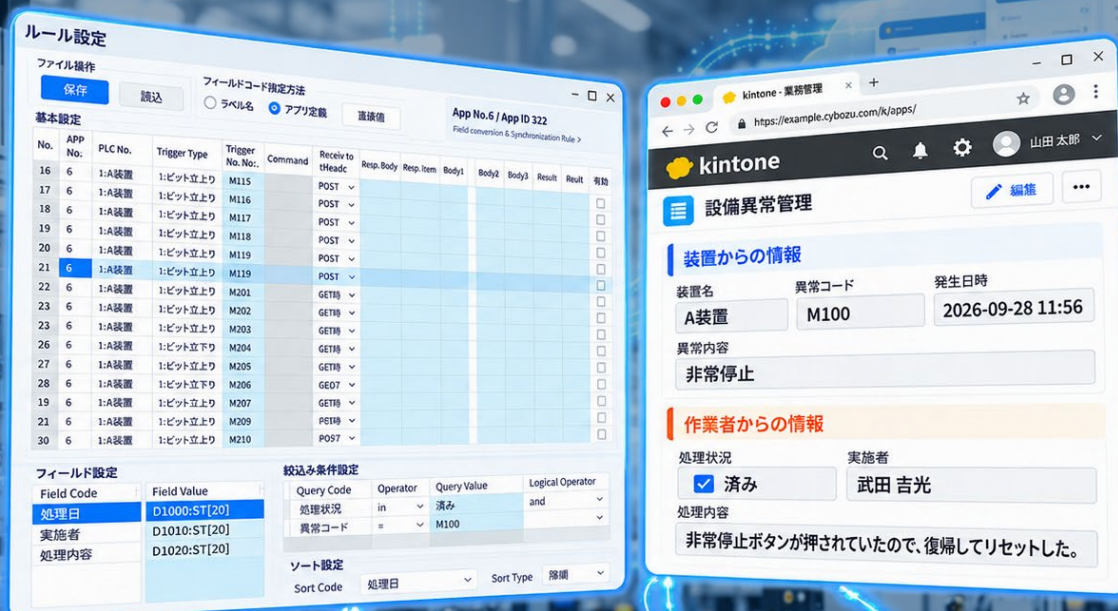


kintone PLC connector 2

KPC2

現場のデータを、もっと身近に
kintoneで見える化・記録・活用



主要PLC 対応

三菱・OMRON・KEYENCEに対応



kintone双方向連携

登録・取得を自動化



ルール設定で自動化

プログラムレスで柔軟に設定

現場の情報収集に、 まだ「手作業」が残っていませんか？

設備データをkintoneで活用するには、設備とkintoneをつなぐ仕組みが必要です。CSV出力や手入力に頼った運用では情報収集に手間がかかり、データ活用スピードも上がりません。

収集

設備データを、人が取りに行っている

異常・稼働・実績などの情報を、HMI画面の確認やCSV出力などで収集している。

登録

集めた情報を、kintoneへ手入力している

収集したデータを転記。入力しているため、入力漏れやミス、情報共有までのタイムラグが発生する。

反映

kintoneの情報を、設備へ手作業で反映している

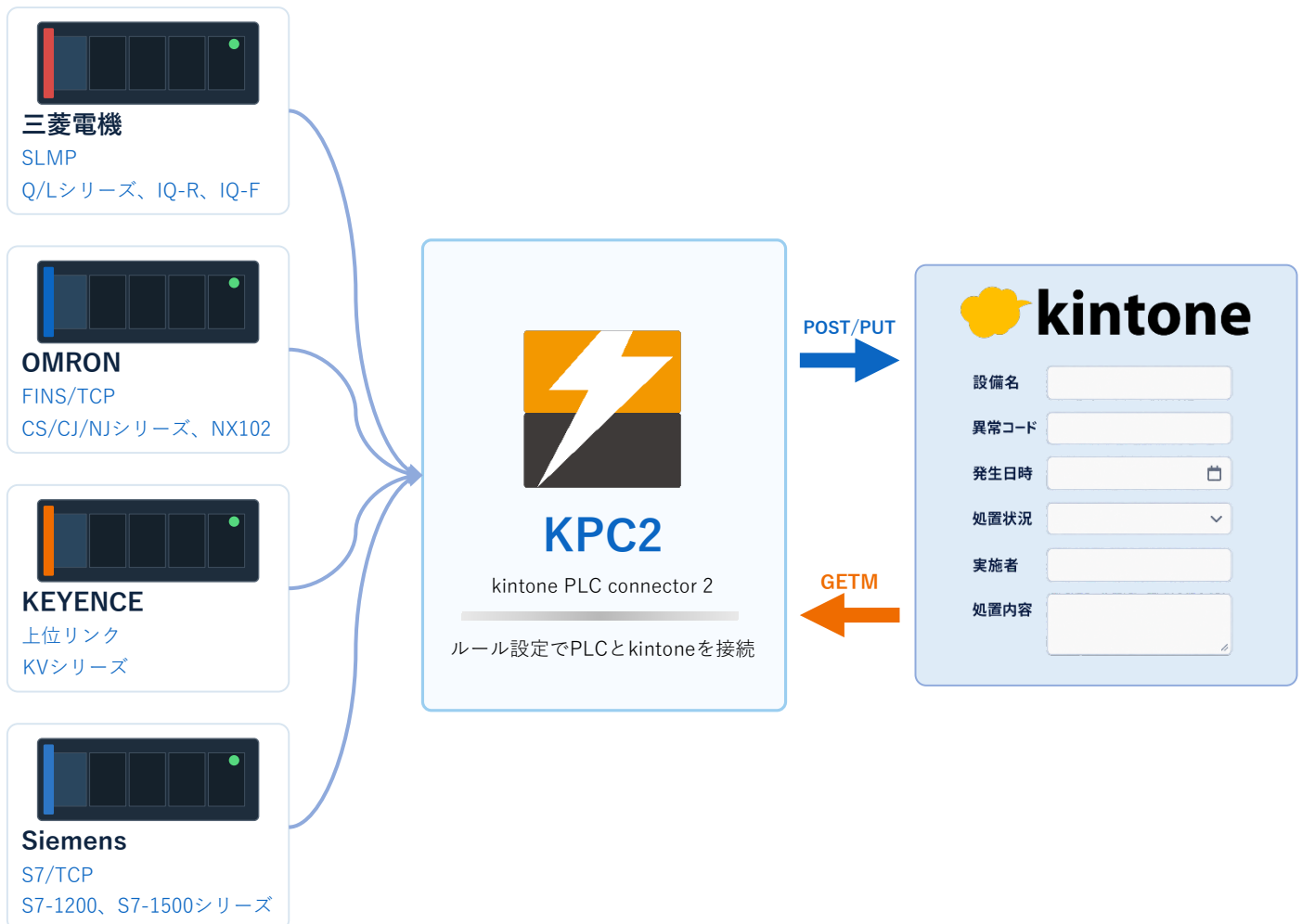
処置結果や設定情報をPLC側で利用するために、再入力や個別の連携処理が必要になっている。

KPC2は、PLCとkintoneの間に残る「手作業」を自動化します。

設備データのkintoneアプリへの登録・更新から、kintoneアプリ情報の設備への反映までを自動化します

PLCとkintoneをつなぐ、 現場のデータ連携レイヤ

異なるメーカーのPLCを登録し、kintoneのフィールドとPLCメモリを
ルールで対応付けます。



フィールドマッピング

kintoneのフィールドコードと
PLCアドレスを対応付け



トリガとコマンド

条件に応じて
POST / PUT/GETなどの
APIを実行



検索・ソート

取得条件を指定して
必要なレコードを取得

KPC2の3つの特長

設定画面で連携内容を構成し、PLC側のデータとkintone側の業務情報を相互に活用します。

1 ルール設定で連携を構築

トリガ、コマンド、フィールドコード、PLCメモリアドレスなどを設定し、個別のプログラムを作成することなく、PLCとkintoneの連携を構築できます。



2 POST/GETで双方向にデータ連携

PLCのデータをPOSTでkintoneへ登録
kintoneのレコード情報をGETでPLCメモリに書き込み



3 複数メーカーPLCを、ひとつのKPC2で接続

三菱電機・OMRON・KEYENCE・Siemensなど、主要なPLCの通信方式に対応。
メーカーごとに別の連携ソフトを用意する必要がありません。



K P C 2 新機能

kintoneのフィールドとPLCメモリを画面上で関連付け

基本設定・フィールド設定・絞込み条件・ソートまで、
1つの画面でルールを構成します。

ルール設定

1 基本設定

フィールドコード設定方法

☐ 手入力
☒ アプリ取得

再取得

4 kintoneアプリ情報

装置からの情報

装置名

異常コード

発生日時

Code: 装置名

Code: 異常コード

Code: 発生日時

SINGLE_LINE_TEXT

SINGLE_LINE_TEXT

DATETIME

異常内容

Code: 異常内容

SINGLE_LINE_TEXT

作業者からの情報

処理状況

処理日

実施者

Code: 処理状況

Code: 処理日

Code: 実施者

☐ 済み

CHECK_BOX

DATETIME

SINGLE_LINE_TEXT

処理内容

Code: 処理内容

SINGLE_LINE_TEXT

フィールド設定

Field Code

Field Value

処理日

D1000.ST[20]

実施者

D1010.ST[20]

処理内容

D1020.ST[20]

絞込み条件設定

Query Code

Operator

Query Value

Logical Operator

処理状況

in

済み

and

異常コード

=

M100

ソート設定

Sort Code

Sort Type

処理日

降順

PLCメモリコメント

メモリ種別

アドレス

サフィックス1

サフィックス2

CIO - CIOエリア・Bitアクセス (Bit)

0.00

PLCメモリ

コメント

CIO0.00

CIO0.01

CIO0.02

CIO0.03

CIO0.04

CIO0.05

CIO0.06

CIO0.07

2 フィールド設定

3 絞込み条件

1

APP No. / PLC No. / Trigger / Command

連携するアプリとPLCを選択し、トリガー、APIの種類 (POST、PUT、GET)を設定。

2

Field Code / Field Value

kintoneのフィールドコードとPLCアドレスを関連付け。

3

Query / Sort

レコード取得時の取得条件、ソート項目・昇降順を設定。

4

アプリ構成を確認

設定に使用するアプリ情報を、アプリフォームプレビューで確認。

使用事例：1

設備の異常を、kintoneへ自動記録

PLC側のトリガを起点に、異常情報をkintoneのレコードとして登録。
設備保全業務に使用する異常履歴データとなります。



登録する主な情報（例）

	設備名	どの設備で発生したか
	異常コード	PLC側の異常識別情報
	発生日時	発生タイミング
	異常内容	業務側で確認する内容
	kintone側で対応を継続 処置状況・実施者・処置内容などを、 業務側で入力・管理できます。	

The screenshot shows the kintone application interface with the following details:

- Header: kintone logo, search, notifications, settings, help, and user profile (山田 太郎).
- Section: 設備異常管理 (Equipment Abnormality Management) with an edit button (編集).
- Section: 装置からの情報 (Information from the Device)
 - 装置名 (Device Name): A装置 (A Device)
 - 異常コード (Abnormality Code): M100
 - 発生日時 (Occurrence Date/Time): 2026-09-28 11:56
 - 異常内容 (Abnormality Content): 非常停止 (Emergency Stop)
- Section: 作業者からの情報 (Information from the Worker)
 - 処置状況 (Disposal Status): 済み (Completed)
 - 実施者 (Implementer): 武田 吉光 (Yukita Yoshimitsu)
 - 処置内容 (Disposal Content): 非常停止ボタンが押されていたので、復帰してリセットした。(Since the emergency stop button was pressed, it was reset and returned to normal.)



転記作業を減らし、設備の異常情報と、その後の対応記録を
kintone上でひとつにつなぎます。

使用事例：2

異常に対する処置内容を装置側で利用

kintoneに追加した情報をPLC側でも利用出来ます。
作業者が入力した処置内容を現場のHMIから確認できます。



取得する主な情報（例）

	処理日	処理した日時
	実施者	対応した担当者
	処置内容	実施した処置内容
	処理状況	対応ステータス
	PLC側で利用・表示	取得したレコード情報をPLC側で参照・表示できます。

kintone - 異常記録

https://example.cybozu.com/kintone/

kintone

山田 太郎

設備異常管理

編集

装置からの情報

装置名	異常コード	発生日時
A装置	M100	2026-09-28 11:56

異常内容

非常停止

作業者からの情報

処置状況	実施者
済み	武田 吉光

処置内容

非常停止ボタンが押されていたので、復帰してリセットした。



kintoneで記録した対応結果を、設備側でも活用できます。
現場と業務の情報をつなぎ、記録した情報を設備側へ戻して利用できます。

製品仕様・動作環境

KPC2を導入するPCの動作環境と、主な対応仕様です。
設備環境・ネットワーク構成をご確認のうえ導入してください。



ソフトウェア仕様

KPC2の主な対応仕様です。

対応メーカー	三菱電機 / OMRON / KEYENCE / Siemens
主な通信方式	SLMP / FINS TCP / 上位リンク / S7 TCP
kintone連携	REST API連携
対応機能	POST / GETM / ルール設定 / 複数PLC対応
設定方式	Windowsアプリケーションでのルール設定
実行環境	Windows 64 bit (.NET 8 Self Contained)
保守機能	Web保守コンソール



インストールPC動作環境

KPC2をインストールするPCの必要環境

対応OS	Windows 10 / Windows 11 ※日本語版 (64bit)
CPU	各OSの推奨仕様に準拠
メモリ	各OSの推奨仕様に準拠
ストレージ	必要空き容量 約500MB
画面解像度	1920 × 1080 以上推奨
Ethernet	2ポート以上推奨
ネットワーク	インターネット接続と装置ネットワーク の分離推奨
対応言語	日本語



kintoneのご契約について

KPC2は、kintoneのREST APIを利用して
データの登録・取得を行います。
kintoneは スタンダードコース または
ワイドコース の契約が必要です。



ネットワーク構成について

インターネット接続環境とPLC・設置ネットワークは
分離した構成を推奨します。
社内のセキュリティポリシーに合わせて
ご検討ください。

型式・ライセンス・価格情報

KPC2は買い切りライセンスです。月額・年額の利用料金は不要で、購入後は継続してご利用いただけます。
同一メジャーバージョン内のアップデートは無償で、マイナーバージョンの機能改善も追加費用なくご利用いただけます。



価格情報

名称	型式	価格（税別）	内容
1ライセンスパック	KPC2-L1	398,000-	KPC2 1ライセンス
10ライセンスパック	KPC2-L10	3,498,000-	KPC2 10ライセンス
バージョンアップ ライセンス	KPC2-VUP	248,000-	旧バージョンの正規ライセンスをお持ちのお客様向け

※ 表示価格は税別です。

※ バージョンアップライセンスは、対象となる旧バージョンの正規ライセンスをお持ちのお客様向けです。

※ kintone はサイボウズ株式会社の登録商標です。

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

kintone PLC connector 2

KPC2

現場のデータを、もっと身近に。
kintoneで見える化・記録・活用。



製品に関するお問い合わせ

株式会社ミナテック

kintoneソリューション推進室

TEL: 0748-64-9045

(受付時間 9:00 ~ 17:00)

※仕様・画面・対応範囲は、予告なく変更される場合があります。
※kintoneはサイボウズ株式会社の登録商標です。その他、記載の会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。